



2015年4月16日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO
京都大学iPS細胞研究所(CiRA)



グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」
ナレッジキャピタル「超」学校シリーズ

「京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA:サイラ)×KNOWLEDGE CAPITAL
出張CiRAカフェ『iPS 夜話』」

- 第1回 4月24日(金)「細胞のエラーを見つけよう！」
- 第2回 8月26日(水)「元気な免疫細胞を再生して体を守る」
- 第3回 12月18日(金)「新しい薬の見つけ方」

場所：グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル1F 「カフェラボ」

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原秀夫)ならびに株式会社KMO(代表取締役社長:間淵豊)、京都大学iPS細胞研究所(所長:山中伸弥)は、ナレッジキャピタル「超」学校シリーズ「京都大学iPS細胞研究所(CiRA:サイラ)×KNOWLEDGE CAPITAL “出張CiRA(サイラ)カフェ『iPS夜話』”」を4月24日(金)より、ナレッジキャピタル1F「カフェラボ」にて開校いたします。

「京都大学iPS細胞研究所(CiRA:サイラ)×KNOWLEDGE CAPITAL」は、京都大学iPS細胞研究所の第一線で活躍する研究者が「“iPS細胞が持つ特徴”の解明」、「iPS細胞による“再生医療”の実現」、「“薬の開発”への応用」などさまざまな角度からiPS細胞が持つ可能性について解説するプログラムです。専門知識がない方でも気軽にご参加いただき、理解を深めていただけます。

本プログラムは、これまで「CiRA(サイラ)カフェ」※として京都大学iPS細胞研究所内で開催していましたが、iPS細胞をより身近に感じていただくことを目的に、大阪周辺をはじめとする、関西の方々に広く参加してもらいたいという思いから、今回ナレッジキャピタルでの開催が実現しました。4月24日(金)、8月26日(水)、12月18日(金)の全3回シリーズで開催が決定し、各回のプログラム開始前には、京都大学iPS細胞研究所 国際広報室による「iPS細胞」に関する簡単なレクチャーも実施します。

ナレッジキャピタルの「超」学校シリーズは、2014年9月の「みんな×KNOWLEDGE CAPITAL」からスタートし、「大阪大学×KNOWLEDGE CAPITAL」「デザイン学校」など、今回でシリーズ4回目を迎えます。さまざまな分野の研究者から、研究の発想やプロセスを学ぶだけでなく、参加者と一緒に考え、対話するナレッジキャピタルならではのプログラムとして、今後も広く発信してまいります。

※CiRA(サイラ)の研究者がゲストとして様々な話題を提供し、リラックスした雰囲気の中で、iPS細胞研究を身近に感じていただく機会です。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

* 本件に関するご取材をご希望の方も下記までお願いいたします。

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:稗方・奥村 電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970

【本件に関する一般の方からのお問い合わせ先】

京都大学 iPS 細胞研究所 国際広報室 電話:075-366-7005/e-mail:media@cira.kyoto-u.ac.jp

<ナレッジキャピタル「超」学校シリーズ「京都大学iPS細胞研究所(CiRA)×KNOWLEDGE CAPITAL」概要>

日時：4月24日(金)、8月26日(水)、12月18日(金) 19:00～20:30(開場18:30)

会場：グランフロント大阪北館1F「カフェラボ」

対象者：高校生以上

定員：各回50名 ※事前募集

料金：500円(1ドリンク代)

主催：京都大学iPS細胞研究所、一般社団法人ナレッジキャピタル、株式会社KMO



<各プログラム概要 *毎回、京都大学iPS細胞研究所 国際広報室から「iPS細胞」の簡単なレクチャー付>

■第1回 4月24日(金)「細胞のエラーを見つけよう！」

講師：渡辺 亮 助教 京都大学iPS細胞研究所 初期化機構研究部門

【講師コメント】

2014年iPS細胞から作った細胞が初めてヒトに移植されました。この研究にCiRAでは品質評価の面で協力しています。移植するには、性質や安全性の面で優れた細胞を用いる必要があります。CiRAでは細胞を厳密に評価する方法を開発しています。移植する細胞として良い細胞とはなにか？どのようにして選び出すのか？良いiPS細胞を選ぶ方法について、お話しします。



【講師プロフィール】

渡辺 亮(わたなべ あきら)

1975年新潟県生まれ。東京理科大学工学部第一部工業化学科卒業。東京大学大学院工学系研究科修士課程および博士課程修了。2003年学位取得(工学)。東京大学先端科学技術研究センター博士研究員を経て、2009年より現職。趣味は食べ歩き。人生で一番感激した食べ物は、ホテルイカのお刺身(日本酒と共に)。

■第2回 8月26日(水)「元気な免疫細胞を再生して体を守る」

講師：金子 新 准教授 京都大学iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門

【講師コメント】

体中のさまざまな細胞へと変化することができるiPS細胞。もちろん体の中で外敵と戦っている免疫細胞もつくることができます。こうした特徴を活かして、iPS細胞を使い元気な免疫細胞を大量に作り出し、がんや感染症を治療しようという研究が行われています。どのようにして治療を行うのか？iPS細胞を使った新しい治療法について、お話しします。



【講師プロフィール】

金子 新(かねこ しん)

1970年松山市生まれ。95年に筑波大学医学部を卒業し、98年同大学大学院医学研究科博士課程入学、2002年博士号取得(医学)。同大学大学院血液病態制御医学(血液内科)講師、サンラファエレ科学研究所(ミラノ)研究員、東京大学医科学研究所幹細胞治療分野助教を経て、2012年から現職。5歳の長男と一緒に、京都市内の銭湯めぐりを楽しんでいます。

■第3回 12月18日(金)「新しい薬のを見つけ方」

講師：妻木 範行 教授 京都大学iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門

【講師コメント】

軟骨が上手く出来ないために身長が伸びない軟骨の病気に対して、既に市販されている薬が有効であるという可能性が示されました。どうやって見つけたのでしょうか？実はこうした薬の開発にもiPS細胞は利用されています。iPS細胞を使った薬の開発研究について、お話しします。



【講師プロフィール】

妻木 範行(つまき のりゆき)

1964年大阪府生まれ。大阪大学医学部を卒業後、大阪大学医学部附属病院、大阪警察病院などで、整形外科医として診療に携わるとともに、大阪大学、米国立衛生研究所(NIH)で軟骨および骨の形成・分化に関する基盤研究を行う。現在は細胞リプログラミング技術を取り入れた軟骨疾患治療に取り組む。最近はジョギングや旅行をすることにはまっています。